

沖永良部の地質

い点すいず
てに山もわ
れ部露とが
わ半に岩
被西近緑斑
にの附閃英
岩島頭英石
灰め国石は
琉ほよ閃近
く山名岩頭
広大知岩園
がう牙花や
るのの近附
いと部附留
て。東城美
しい。内喜
ななで。の
を少層る部
岩て岩あ東
盤め板で
基わ粘層。
のさ村岩る
島は新砂わ
本布は棚でる
が分の大のず
層のもはも出
生をものさ露
あ、すもでに
て在るうか

琉球石灰岩の分布は、わけても広く、これが数段の段丘面を形成し、甚
底部北傾斜（ 10° ）を出し、これを花崗岩の断崖が打ち、波打際には琉球石灰岩や黒色片岩から成る古生層が露出する。この琉球石灰岩中に鍾乳洞があるが、地下の段丘面の先端部にあるいはその下の斜面には鱗鈹を胚胎する事がある。

地質圖

